

新庁舎整備調査特別委員会記録

開催年月日	令和5年8月30日（水）
開催場所	別館6階 第3・4委員会室
会議時間	開会 午前9時59分 閉会 午前10時44分
出席委員 (14名)	◎大木健太郎 〇山本智紀 田坂信一 土井田 学 小崎愛子 清水尚美 太田幸伸 白石勇二 岡 雄也 田淵紀子 河本英樹 矢野尚良 渡邊啓之 佐々木 亨
欠席委員 (0名)	なし
その他の出席者	執行機関 (理財部) 西岡英治部長 白方 仁副部長 稲田靖穂公共施設マネジメント統括官 中矢章一管財課長
	証人 その他
事件名	1 松山市新庁舎整備基本構想案について 2 議場レイアウト等案について

会議の概要

開会（午前9時59分）

○大木健太郎委員長 委員各位には御多忙の中、御参集いただきましてありがとうございます。

ただいまより新庁舎整備調査特別委員会を開会いたします。

本日の記録署名委員に山本委員を指名いたします。

この際、申し上げます。本日の委員会には1人の傍聴者がおりますので、御報告をいたします。

この際、傍聴人に申し上げます。委員会の傍聴に当たっては、審査案件に対して賛成あるいは反対の意思表示をしたり、会議の妨害となる行為をすることは禁じられております。なお、規則等に違反する場合は退場を命ずることがありますので、念のため申し上げます。また、委員会室への入室につきましても、審査等の妨げにならないように御協力をお願いいたします。

それでは、松山市新庁舎整備基本構想案についてを議題といたします。

本日は、基本構想案に対する意見・要望事項の最終取りまとめを行います。お手元配付の意見・要望事項（案）を御覧ください。これまでに出示された意見・要望等を私のほうで取りまとめさせていただきます、事前に提示させていただきました。指定の期日までに特に意見等の提出がありませんでしたので、意見・要望（案）のとおりとすることでよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○大木健太郎委員長 それでは、意見・要望事項（案）のとおり、理事者に対し、意見・要望事項を提出したいと思っております。一連の事務については、委員長一任をいただいでよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○大木健太郎委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

この際、今後のスケジュールについて御説明いたします。基本構想案につきましては、先ほど御一任いただきました特別委員会としての意見・要望事項を理事者に提出した後、次回の特別委員会において、理事者から回答をいただき、11月に基本構想が策定・公表される見込みです。基本計画につきましては、令和6年1月から松山市新庁舎整備検討審議会でも基本計画案の審議が始まり、答申がなされた後、令和6年5月から当特別委員会において、基本計画案に対する意見・要望等を協議していく予定です。

次に、議場レイアウト等案についてを議題といたします。先ほど説明いたしました基本計画案には、新庁舎の各階の配置や導入する機能が整理され示されますが、この基本計画案に盛り込む議場の配置階等について、前回、理事者から案が示され、意見が求められているところです。本日は、

前回に引き続き、各委員から意見等を伺いますが、意見が一つにまとまらなくても、検討項目ごとに委員会の多数意見・少数意見として取りまとめさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、協議に入る前に、前回委員から質問があった内容について、理事者の説明を求めます。

◎中矢章一管財課長 御協議の前に補足事項について御説明をいたします。令和5年7月25日の当特別委員会におきまして、岡委員から議場の形状におけるスペースの違いを示してほしいとの御質問をいただいた事項ですが、設計事務所に問合せをしたところ、座席の配置をどのようにするかということに大きく左右はされますが、おおよその目安として一般的に対面型・扇形に対して、馬蹄型・円形型は10%程度広い面積が必要とのことです。説明は以上です。

○大木健太郎委員長 以上で、説明は終わりました。まず、検討項目のうち、議場の配置階が上層階、中間階、低層階のいずれが適当であるかについて、お一人ずつ御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◆田坂信一委員 全国中核市では上層階が多いです。上層階が34市、低層階が17市、中間階が10市ということ。そして一番に天井高が確保しやすい、高いのが非常にいいんじゃないかと思っておりますし、セキュリティも何よりも確保しやすいというのがありますので、私は上層階が個人的にですが適当と思っています。

◆土井田学委員 どこでもいいです。議場から外が見えんのやったらね、高かろうが低かろうが関係ない。

◆小崎愛子委員 現在は上層階ですよ。考えた場合、土井田委員は外が見えないと言われたけど、見えるようにすることもあり得るんじゃないかと思っております。傍聴の方が来られる立場に立つと、低層階のほうがいいのかなというふうな気もするんですけど、そういう構造面とか、そういうふうなところからすれば上層階かなと、迷ったところなんですけど、そういうふうに思います。

◆清水尚美委員 私も前回の検討内容で、議場の独立性とかセキュリティの確保といった面で、上層階がいいのかなと思っています。

◆太田幸伸委員 私は、議場としてだけ使うのか、あるいは多目的として使うのか、その辺を含めて検討しないといけないなと思っております。私はどちらかと言えば、年4回の議場だけじゃなくて、使わない期間は市民に使っていただけるような形であるのであれば、低層階のほうがいいのかなという考えです。

◆白石勇二委員 トータル、全体的なことを考えて、私は上層階、中間階、低層階、全体を見て考えてもらったらと思っておりますので、どちらでもよろしいということです。

◆岡雄也委員 私としては、低層階であれば市民が利用する窓スペースの確保が困難だと思っております。眺望を生かすということであれば、食堂を上層階に持っていくという発想も今後あるのかなと思っておりますので、少し天井高を確保するために工夫が必要だと思っておりますが、中間階がいいと思っております。

◆田淵紀子委員 私も市民の利便性を考えたときに、市民の方が使うものは下のほうで、議会は上層階がいいと思っております。

◆河本英樹委員 基本的にはどれでもいいんですけども、セキュリティ面の確保がしやすいということで、私は上層階がいいかなと思っています。

◆矢野尚良委員 市民の皆さんに見ただけ、いわゆる開放的にされるのであれば低層階で、あまりフルオープンに見えない、今のような閉鎖的にされるのであれば天井高を確保するのに上層階がいいと考えます。

◆渡邊啓之委員 どう使うかがあると私も思います。多目的にこれから利用していくのならば、私は低層階かなとも思いますし、あとは別に中間階でも上層階でも私はいいと思っております。目的によって変えていくほうがいいんじゃないかとは思っております。

◆佐々木亨委員 私は上層階のほうがよろしいかなと思っております。天井高を高く取るために上層階のほうがいいということで、セキュリティのことも考えた場合に、上層階のほうがいいんじゃないかなと思っています。

◆山本智紀委員 私は上層階です。本書の記載のとおりですが、特にセキュリティが確保しやすいというところは大事なかなと思っています。

○大木健太郎委員長 今意見を伺った結果を見ますと、上層階という意見が多数意見だったかなと思っておりますけれども、少数意見でありました中間階とか低層階という意見も添えながらまとめさせていただいて。先ほどいろいろお話が出た中で、多目的利用をするかどうかということもありましたけれども、この委員会にそれを決める権利があるのかどうかということ、またこれは違うところで検討していただかないといけないので、もし多目的で使うというふうになればまたその意見も反映させていただきたいと思っておりますので、それでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○大木健太郎委員長 次に、議場の形状が対面型、扇型、馬蹄型、円卓型のいずれが適当であるか、一人ずつ御意見をいただきたいと思います。

◆田坂信一委員 いろいろ私も全ての型についてメリット、デメリットを見てみました。その中で扇型がこの書類に書いているように、全員の一体感と参加意識が醸成できる。デメリットも、両端の議員同士の視線が交わりにくいとか、一部の位置からはほかの議員との対話が難しい場合があるなどと、いろいろありますけども、いろいろ比べて見た中では、扇型が一番一体感とか参加意識、そして理事者、議員の質問などのプレゼンテーションをしっかりと見ることができるということで、扇型を私は個人的に思っております。

◆土井田学委員 正直難しいですね、これは。一番数が少ない型にしたらいんじゃないですか。日本一を目指して。松山の売りになるでしょう。

◆小崎愛子委員 この検討内容を見たら、特徴とかに円卓型が最も民主的な形状というふうなところで、非常にいいなと思ってるんですけど。デメリットとしてスペース効率が悪い、面積の確保というふうなところも書いてあるんですけど、そういう意味からメリットのほうを採用すると、円卓型がいいなと思います。

◆清水尚美委員 前回、調べていただいた61中核市中57市が扇型になっているんですけど、一般質問も代表質問も、理事者に向かって質問をしていくというふうな形を松山市は取っていますので、そうなったら、扇型で対面式のほうがいいのか。馬蹄型と円卓型を見てみますと、どちらかというと議員向けに質問するような壇上みたいな形になっているので、ちょっと違うかなというふうに。広さのことも考えると、スペースは円卓型とか馬蹄型になると広く取らないといけないというふうなことを考えると、扇型が一番いいのかなと思っております。

◆太田幸伸委員 私は、今後の議会のイメージの向上、また市民から見た部分で言えば、民主的な形状の円卓が、私も那覇市議会を2度ほど見ましたけど、印象はすごくいいなというふうに感じました。いろんな面積効率の問題とか様々ありますが、印象だけで言えば円卓型がいいのかなと思いました。

◆白石勇二委員 無難にいったら扇型になると思うんですけど、私は、先ほど説明があったんですけど、スペース的に10%増になるんですけど、円卓型もありではないかな。理事者と議会側で、青と赤で資料に載っているんですけど、この青と赤の配置は机の両サイドに青の理事者に来てもらって、下側に議会側ということで並ぶこともできると思うので、無難に行けば扇型ですけど、円卓型もありかなというところがございます。

◆岡雄也委員 私もメリットと、何度か那覇市庁舎、那覇市議会を見せていただきましたけど、円卓型がいいと思います。

◆田淵紀子委員 私も円卓型が希望ですけども、扇型も討論するにはすごく便利なので、扇型もいいと思います。

◆河本英樹委員 私は、円卓型もいいんですけど、慣れているのもあるんですけど、スペースが確保しやすいことや、参加者の全員の一体感などもあるので、扇型がいいかなと思っております。

◆矢野尚良委員 円卓型がいいと思います。

◆渡邊啓之委員 せっかくやられるのですから、通常どおりというのではなく、私も円卓型がいいと思います。

◆佐々木亨委員 私は扇型がいいかなと思います。議会中ずっと理事者のほうを見て言うことができることと、スペースのメリットを考えたときに、扇型が一番いいんじゃないかなと思います。

◆山本智紀委員 私は扇型です。理由は2つありますが、まず何よりも日の丸に向かって皆さんが同じ距離で向かえるというところが1点。それと、今の松山市議会の伝統となっていると思いますが、50年間今の形になりますので、その流れをしっかりと残していくというのも一つの考えじゃないかなと思っています。

○大木健太郎委員長 ただいま意見を伺った結果、円卓型という意見が多数意見としてございましたけれども、5名の方から扇型という意見もございましたので、少数意見も踏まえながら、取りまとめさせていただきたいと思っております。

◆土井田学委員 補足。この中で一番少ない形はどこの。

○大木健太郎委員長 扇型がほぼ全部で、対面型、馬蹄型、円卓型が1対1対1。

◆土井田学委員 その少ないやつにしてや。

○大木健太郎委員長 次に、議場の床が段床式かフラット式かについて、お一人ずつ御意見をいただきたいと思っております。

◆田坂信一委員 これは、61市中60市が段床式ということや、フラット式のほうは規模が大きい場合に視界が確保しづらいとか、什器を採用した場合に別途収納スペースが要するというようなことで、これはもう圧倒的に60市が採用してますように、私は段床式でお願いしたいと思っております。

◆土井田学委員 気持ちはみんな平等じゃけんフラット式じゃ。

◆小崎愛子委員 私もフラット式がいいと思うんですけど、デメリットで規模が大きい場合、視界が確保しづらい、議員側と理事者側の双方が見づらいというふうに書いているんですけど、今の松山市の議場は、理事者が段の上みたいな感じなんですよ。そういう意味からしたら、対等なフラットというか、そういうほうがいいんじゃないかなというふうな考えはありまして、フラット式です。

◆清水尚美委員 私は段床式かなと。真っすぐになったらそれはいいんですけど、真っすぐになると見づらいという部分もあるので、少し段差がついたほうがいいかなと思います。

◆太田幸伸委員 私はフラット式でいったほうがいいです。

◆白石勇二委員 先ほどの議場の形状によってこれも見られると思うんで、円卓型とかになったらフラットでも別に構わないし、扇型やったら見えないとかで段床式になろうと思うんで、そこら辺はどっちというのは、形状によって変わってくるのではないかなというところがあります。なので、どっちとも言えませんというところですよ。

◆岡雄也委員 段床式が多いというお話ではありましたが、どうしても車椅子とか、そういった配慮が必要なので、段床式を選ばれるのであれば、あらかじめ階段ではなくてスロープ形式で造られたらいいかなと思います。

◆田淵紀子委員 私も、議会も高齢化してくることもあるし、車椅子で入るときに困難にならないような形で、フラット式がいいかなと思うんですけども、視界を確保できるのであればフラット式でもいいんですけど、もし確保が困難ということであれば、スロープ式の段床式がいいかなと思います。

◆河本英樹委員 私もスロープ式の段床式がいいと思います。

◆矢野尚良委員 円卓型だったらフラット式で、それ以外だったら段床式のほうが見やすいと思います。

◆渡邊啓之委員 私も同じです。円卓型ならフラット式で、扇型なら段床式がいいと思います。

◆佐々木亨委員 私も皆さんと同じで、円卓型ならフラット式で、その他であれば段床式が効率的なのではないかと考えます。

◆山本智紀委員 皆さんからも出ていますが、形状によると思います、見やすさで見たら段床式かなというふうには思います。ただ福祉に対する配慮は重要かと思えます。

○大木健太郎委員長 いろいろ条件つきということもございますけれども、形状によってということもございますので、その意見も踏まえて、少し段床式のほうが多いかなと思いますけれども、フラット式の意見も踏まえて検討していただきたいということで、報告させていただきたいと思えます。

次に、傍聴席が段床式か、フラット式か、2階式かについて、お一人ずつ御意見をいただきたいと思えます。

◆田坂信一委員 傍聴席につきましては、いろいろメリット、デメリットがありますけれども、個人的には2階式がいいかなと思っております。高いセキュリティが確保できるということで、2階式でお願いします。

◆土井田学委員 傍聴に来られた方は、議場や議員や理事者の姿や格好が見たいんで、それが見えるような高さが必要だ。フラットやったら見えんでしょ。段床式か2階式か。2階式は高過ぎるんじゃないか。段床式か2階式かは議場の形状によります。

◆小崎愛子委員 迷うところなんですけど、形状によるという条件はあるんですけど、フラット式だったら多目的利用がしやすいのでいいかなというところと、ここにも書いているように、傍聴席から質問とかの臨場感を感じられるというふうなところなんですけど、全体像が見えづらいというふうなところとセキュリティの問題があるというところなんですけど、でも、そういうふうにしたらいいかなと思います。

◆清水尚美委員 私は2階式でいいかなと。県議会みたいに、あまりにも高過ぎると見えないので、本当に松山市議会の議場ぐらいだったらよく上から見渡せるので、2階式がいいかなと思います。

◆太田幸伸委員 これも本当に形状に左右される部分があるんですけど、私はできたら多目的利用ができるような方法を考えると、これは2階式だと多目的利用ができないというデメリットになっていますけども、できないのであればフラット式、あるいは段床式、そういう形を考えるしかないのかなと思います。傍聴の方にとっては、本当は議場全体を見渡す2階式のほうがいいのかなとは思えます。

◆白石勇二委員 私は2階式がいいかなと思います。デメリットで多目的利用ができないとなっているんですけど、今、議場を見ていて、松山市の今の現状を見てもらったら、傍聴席をフラットで使うイメージがないんで、ここは当てはまらないのではないかなというのと、あと、死角になる部分があるというのは傍聴者から真下、一番後ろの後部座席の人のことだと思うんですけど、これはフラットにしても、フラットの場合はもう全然見えないというところが出てくるので、この辺はデメリットは共通するのではないかなと思うのと、あと、この後ユニバーサルデザインで出てくるんですけど、親子傍聴席とかいろいろ出てくると思います。その形状とかによってもだから区別はしておいたほうがいいのではないかなと。ユニバーサルデザインに取りかかりやすいのではないかなということで2階式を私は推薦します。

◆岡雄也委員 今、白石委員がおっしゃいましたけれども、ユニバーサルデザインの親子の動線ですとか、車椅子の傍聴者の動線を考えたときに、段床式でも堪えられるのか、もしくは2階式じゃないと動線ですとか設備面の設置が難しいのか、その選択肢かなと思います。

◆田淵紀子委員 私は2階式で、2階も段床式で。現在のようなイメージなんですけれども、車椅子の席を倍ぐらいに広くするような形がいいかなと思います。2階式にしてなくて、フラット式だった場合、そこを乗り越えて入ってくる人も私は出てくると思うんですよ。段床式にすると、座られている方皆さんが全体の議員の方を見渡せるので、段床式がいいかなと思うんですけど、福祉のことを考えたときに、今の車椅子席はもうちょっと広げたほうがいいかなと思います。

◆河本英樹委員 私は、傍聴者から見やすいので2階式がいいと思います。

◆矢野尚良委員 円卓型だと同じようにフラット式で、それ以外だと段床式がいいと思います。ほかの議会を見ても、段床式でも十分車椅子の対応等々ができている議場が多いですから、段床式で。2階式だと、傍聴者の方から一番近い議員の顔が全く見えないという御意見が私の周りでもありますので、段床式がいいと思います。

◆渡邊啓之委員 セキュリティーの問題もあるかもしれませんが、高さも必要だと思います。ですから、私は段床式がいいと思います。

◆佐々木亨委員 私は2階式がよろしいかと思ひます。一番議場全体が見やすいので、2階式がいいと思ひます。

◆山本智紀委員 私は2階式です。見やすさというところで、福祉には十分配慮するということだと思います。

○大木健太郎委員長 意見を伺った結果、2階式という意見のほうが多少多かったと思ひます。ですが先ほども言ったように、これまでの意見を聞いた上で取りまとめさせていただきたいということで、決定ではございませんので、これを皆さんの意見として貴重な意見として取りまとめ、提出させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

◆土井田学委員 この3つの方法しか考えていないのか、傍聴席は。フラット式で、傍聴席だけ上段に上がるようにしといたら、終わったら多目的に使える。みんなが多目的に使えるようになる。そんなも入れとかんといかんのやない。傍聴席だけをば一と上げちゃったらいい。そしたら見える。それが終わったら下げたらいい。簡単なこっちゃろ。それも検討しといて。

○大木健太郎委員長 最後に、議場の什器及びユニバーサルデザインについて御意見をいただきたいと思ひます。これは手挙げ方式で御意見いただきたいと思ひますので、意見のある方は御意見をいただきたいと思ひます。

◆清水尚美委員 災害のことを考えると、議場の什器は固定式がいいのかなと思ひます。ただ、机は固定式で、椅子は自由になったらいいので、椅子だけ可動式がいいと思ひます。

◆太田幸伸委員 これも多目的に使うかどうかで大分変わってくるのかなと思ひますので、多目的に使うのであれば、なかなか固定式では使いづらひのかなと思ひますので、その辺の方向性によって変えていくということですね。

◆岡雄也委員 こちらの什器については、まず固定式と可動式で、予算ベースでどのくらい変わってくるのかというのが一つあるかなと思ひます。椅子についても、今この委員会室で座っている椅子のようなものなのか、例えば人間工学で配慮されているような、ゲーミングチェアのような長時間座っても疲れないような、背の高いような椅子にするのかとか、それによって金額が変わってくると思ひますが、可動式のほうが今後、使い勝手としてもいいのかなと思ひますし、新庁舎を建ててから例えばまた30年、50年と使う中で、人口減少を迎えつつある中、議員の定数も減るであろうと見据える中で、何でこんなに机があるのかという御意見がいずれ出てくるかなというのものもあるので、可動式でその場に應じた移動ができる方法がいいと思ひます。

◆山本智紀委員 理事者の皆さん、御存じだったら教えていただきたいんですけど、例えば大学の講義のテーブルというのは固定じゃなきゃ駄目というのは法律で決まっているんですね。60年安保のときに学生がバリケードに使ったとかという教訓があって、定められているというふう聞いたことがあるんですけど、議場についてはそういった、例えば本会議を止めるぞというのでバリケードで使ったりするとか、ほかの自治体で過去、国会では見たことあったりすると思うんですけど、そういったことを防ぐために固定式じゃなきゃ駄目というような何か、松山でルールがあるのか、ないのかというのをもし御存じだったら教えて下さい。

◎水田隆敏議事調査課長 今のところそういった固定式じゃないといかんといいところは聞いてはいないので、それはないのかなと思ひますけど調べてみます。

◆土井田学委員 せつかく新しく造るんじゃけん。日本全国から松山市に見に行こやいうて、わっころわっころ押し寄せてくるような造れ。

◆渡邊啓之委員 土井田委員の意見と似たようなのなんですけども、机は固定でもいいんですけど、その机が下に可動式にしてしまえるような、ボタン一つで隠れる、分かりますか。さっき、土井田委員が傍聴席を上げたり下げたりと言われていた理屈と一緒に、テーブルを下げれば多目的になる、そういう使い方。多分ものを格納するという。椅子とかも、片づける場所も必要になると思ひますので、少しでもスペースを確保できるような、そういう、ごめんなさい、夢物語みたいなことを言うてるかもしれませんが、私も、同じやるなら、松山市の誇りになることをやったらいいかなと。予算のこともあると思ひますが。

○大木健太郎委員長 ほかにございせんか。

◆太田幸伸委員 こうした公共の建築物を造るときに、障がい者団体の御意見をしっかりと聞いた上で反映させることが大切かと思いますので、これを進めるときに、各様々な障がい者団体がありますけれども、ぜひそうした御意見を聴取した上で、可能な限り反映をさせていただきたいと思えます。

◆土井田学委員 親子傍聴席という書かれとるでしょう。これ非常にいいことよ。親子傍聴で、親と子どもが傍聴に来たなんて見たことない。今まで何回ぐらいあるかの。親子で傍聴しよった姿は見たことないんじゃないかと。

◎石橋美幸総務課長 親子で、たまに小さいお子さんを連れて来られる傍聴者の方もいらっしゃいますが、泣き声とかを気にされて、泣きそうになったら議場の傍聴席から出られるような姿は何回か見たことはあります。

◆土井田学委員 泣いても構わんような防音の部屋を作ってあげ。これからは正直言うて、子どもがどんどん減りよる時代じゃからね、子どもさんを大切にするようなことを第一に考えんといかんと思えます。親子傍聴席、賛成。

◆白石勇二委員 構わないですか。土井田委員の意見には賛成なんですけど、私、車椅子用の傍聴スペース、どこもなんですけど車椅子の人といったら後ろの席なんですよね。椅子があって、座った人の後にスペースをつくって、そこに車椅子で行って後ろの席になる。これの逆転の発想で、前のほうに車椅子のスペースを取ってあげて、席をつくるというような。みんなはこれが当たり前みたいに車椅子の人を後ろに持っていったんですけど、これを案ベースとして、前に持ってくるのもいいのではないかなと思えます。

◆佐々木亨委員 この親子傍聴席の写真ですけど、これは2人ぐらしか座れないんですけど、子どもがたくさんの方も来られるようにしてくれたらと思えます。

◆田淵紀子委員 親子傍聴のことで、先ほど答弁いただいたことに質問なんですけど、今私が聞いている限りでは、子どもさんを預かってくれるサービスもしていると聞いたんですけど、それはないということですか。

◎石橋美幸総務課長 託児ルームのほうに預けていただくという形はできるようになっているはずですが、でも、やはり小さいお子さんなので、預けないまま一緒に傍聴に来られるお母さんも、親御さんもいらっしゃるという形にはなっています。

◆田坂信一委員 親子傍聴席は、藤沢市とかいろいろ和泉市がつくっていますけど、例えば小学校より上の子は、今の傍聴席でも多分、親子で一緒に座って聞けるのかなと思ったりするんですけど、大体何歳ぐらいを想定して親子傍聴席と考えているのか、教えてください。

◎中矢章一管財課長 お子様年齢ですけども、調査の中ではそこまで確認はしておりません。

◆田坂信一委員 私が今考えたのでは、恐らく幼児を想定しているのかなと思いました。というのは、小学生の子は今の傍聴席で十分座れますので、あえて設ける必要はないので、恐らく幼児かなと考えたんですけど。もう一回調べておいてください。

◆山本智紀委員 せっかくの機会なんで、野球のスタジアムで砂かぶり席という、すごく近くで見られるところがあると思うんですけど、傍聴席のさっきの親子スペースのところ、特に、より上からじゃなくて同じ下からというか、床の目線からでも、そういった託児の機能をメインとして預かれるスペースで、日によって議会が開催されているというような構造がもしできるのであれば、それはそれで先ほど土井田委員がずっとおっしゃっていただいている、日本一というところにも寄与できるのかなというふうにも今、話を聞いていて思いましたので、一応お伝えをしておければと思えます。

○大木健太郎委員長 ほかに御意見等はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○大木健太郎委員長 それでは、本日出された意見等は、委員長において取りまとめさせていただきますが、議場レイアウトに関するものであり、全議員に関係することですので、まずは当委員会の検討結果を議長に報告して、その後、議長において全議員に周知していただく場を設けていただきたいと考えております。ただし、当委員会の意見は集約しているため、全議員に改めて意見・要望を求めるものではなく、あくまでも当委員会の検討結果を報告するのみにしたいと思います。それらを経た後、理事者に対して議会の意見として提出させていただきたいと思えますが、そのような流れで委員長に一任を願えますでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○大木健太郎委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、本日の協議事項は終了いたしました。

以上で、新庁舎整備調査特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉会(午前10時44分)